

- ◆第161回臨時時代議員会に引き続き、Web会議併用による代議員会を開催。
- ◆令和3年度決算を承認。監事・理事および日医代議員の補欠選挙を施行。

◇総務部◇



松家会長の挨拶



小玉副知事の来賓挨拶



Web会議による一般質問

第162回定時代議員会を去る6月19日（日）午前10時、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の一環として、前回の臨時時代議員会に引き続き、Web会議【Zoomミーティング】併用にて当会館の他、全道の代議員を結ぶ形で開催した。

冒頭、本間議長の進行により、議事録署名人の指名の後、会長挨拶、来賓挨拶の後、議案審議に入り、議案第1号「監事補欠選挙の件」、議案第2号「理事補欠選挙の件」、議案第3号「日本医師会代議員補欠選挙の件」については、前号掲載の選挙結果のとおり選出された。

次いで、報告(1)令和3年度事業報告については、理事者から報告ののち承認され、また、議案第4号「令和3年度決算に関する件」については、関連する、報告(2)監査報告と、代表質問・一般質問の後、別室およびZoom会議ブレイクアウトルームにて決算委員会を開催し詳細な審議を経て、提案どおり承認された。

なお、代表質問ならびに一般質問は以下のとおりであり、理事者からそれぞれ答弁を行った。

◇代表質問◇

- 1. 上埜 博史 代議員（中央ブロック）
「かかりつけ医機能の制度化について」
（答弁者：笹本常任理事）

- 2. 百石 雅哉 代議員（札幌市）
「リフィル処方箋の導入について」
（答弁者：荒木常任理事）

最後に、松家会長より閉会の挨拶が行われ本代議員会の全日程を終了した。

◇一般質問◇

- 1. 大原 正範 代議員（函館市）
「新型コロナワクチン（4回目接種）の医療従事者等への有効利用」
（答弁者：三戸常任理事）

〈決算関係、質疑応答等は、順次当会ホームページに掲載予定〉

専門部から

2022年度 夏季の省エネルギーの取り組みについて

—地域医療部—

国内外のエネルギーを巡る情勢変化により、足元の電力需給が極めて厳しい状況にあることを踏まえ、政府は令和4年6月7日に関係閣僚による「電力需給に関する検討会合」を開催し、『2022年度の電力需給に関する総合対策』を決定しました。

これを受け、経済産業省は国民生活や経済活動に支障のない範囲で省エネルギー、節電の取り組みを呼び掛けると共に、電力需給ひっ迫の切迫度を下記のとおりレベル別に発出することなどを発表しました。

つきましては、経済産業省が作成した「医療機関を含めた事業者別の省エネ・節電メニュー」を当会ホームページに掲載いたしましたので、診療に影響がない範囲での節電へのご協力をお願いいたします。

記

名称	予備率	発表のタイミング	発表者	
電力需給ひっ迫準備情報	エリア予備率5%以下	前々日18時をめぐり	一般送配電事業者	北海道は「ほくでんネットワーク」
電力需給ひっ迫注意報	広域予備率5%以下	前日16時をめぐり	経済産業省 資源エネルギー庁	
電力需給ひっ迫警報	広域予備率3%以下			

●北海道医師会「医師の皆さまへ」→「新着情報」

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/shoene_setsuden/pdf/setsudenmenu_jigyosha01.pdf